

令和元年度 教育研究業績書

氏名 木下 光生

最終学歴	大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了	
取得学位	博士（文学）	
所属学会	近世史フォーラム 貧困研究会 奈良歴史研究会 大阪歴史学会 日本史研究会 社会経済史学会 佛教史学会 日本葬送文化学会 日本環境斎苑協会	
専門分野	近世日本史	
研究課題	貧困、救済（セーフティネット）、自己責任	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史 I ・日本史特殊講義 ・日本史講読 I・II ・日本史演習 I・II
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	・文献史学（日本史）演習 I～IV
	大学院博士後期課程担当科目	なし
	通信教育部担当科目	・史学演習 III
【研究上の特記事項】	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(基盤研究B)「比較史からみる生活の存立構造 1600-2000:家政・市場・財政」研究分担者(研究代表者・谷本雅之、平成29～32年度)	
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】	①近世史フォーラム事務局長 ②奈良歴史研究会事務局長・代表代行・研究委員長 ③舩松人權歴史館（堺市）展示委員会委員 ④山添村教育委員会古文書入門講座（2019年12月14日、奈良県山添村豊原公民館）	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	入学試験委員会委員 FD委員会委員 個人情報保護管理委員会委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
①「王は民に語りかけるか一冊封と国制からみた中国、朝鮮、琉球、日本一」	単著	2019年8月	歴史学フォーラム2018実行委員会『歴史学フォーラム2018の記録 民衆と国家の生き残り方—微視と巨視の歴史学—』同実行委員会	50～58頁
②「書評 マーティン・ラヴェリオン著／柳原透監訳『貧困の経済学 上・下』」	単著	2019年10月	一橋大学経済研究所『経済研究』70-4	375～377頁
(学会発表)				
(その他)				
①「貧困史からみた日本の近世と現代」	単著	2019年8月	第15回子どもの貧困研究のフロンティア定例学術研究会	主催：首都大学東京子ども・若者貧困研究センター 場所：首都大学東京オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス
②「江戸時代の身分制と賤民—中学校教科書での描かれ方はどう変わってきたか—」	単著	2019年11月	舩松人権歴史館企画展「江戸時代の絵図と塩穴村」人権講演会	主催：堺市立人権ふれあいセンター 場所：堺市立人権ふれあいセンター
③「自己責任が大好きな日本人たちへ」	単著	2019年12月	親鸞仏教センター『アンジャリ』38	26～29頁
④「対談 木下光生×雨宮処凛 「自己責任」と江戸時代」	共著	2020年2月	雨宮処凛編著『ロスジェネのすべて—格差、貧困、「戦争論」あけび書房	145～188頁